
北海道浮魚ニュース

平成 17(2005)年度 18 号 (通巻 No.207)

2005 年 9 月 20 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

オホーツク海サンマ漁期前調査結果

ジャミサンマのみ 表面水温は 15 前後

9 月 12 日～15 日に稚内水産試験場試験調査船北洋丸でオホーツク海(雄武～ウトロ沖)のサンマ漁期前調査を実施しました。結果概要は以下のとおりです。

1 表面水温 - サンマ適水温域が広がっている【図 1】

海洋観測点での表面水温範囲は 12.7～18.4。強い潮境もなく、この時期のサンマの分布には適した 15 前後の水温域が広がっていました。

2 探索・目視 - ハネなし、魚群わずか【図 2】

夜間、航行しながらの探照灯による魚群探索調査では、サンマのハネは、ほとんどありませんでした。

停船して目視した観測点 22 点のうち十数尾以上のサンマの群れが認められたのはわずか 3 点で、残る 19 点ではサンマは皆無あるいは数尾しか見られませんでした。

3 漁獲調査 - ジャミサンマのみ

サンマが目視された 11 点(図 2・印)で、たも網による採集をしたところ、体長 5 - 22 cm のサンマが採集されました。このうち、まとまった群れが見られた網走沖の点(図 2・散見)で 200 尾採集しましたが、8 割以上が体長 8 - 12 cm で、体長 20 cm 以上は 3 尾しか採集されませんでした。

なお、ジャミより大きいサンマの群れが認められなかったため、流し網は行いませんでした。

スルメイカは、沖合の観測点 10 点で数尾が目視されたほかは、知床付近、紋別付近では皆無でした。

9 月下旬に、今期の「オホーツク海サンマ漁況見通し」をお知らせする予定です。

(文責：網走水産試験場資源管理部、TEL:0152-43-4592、FAX:0152-43-4593)

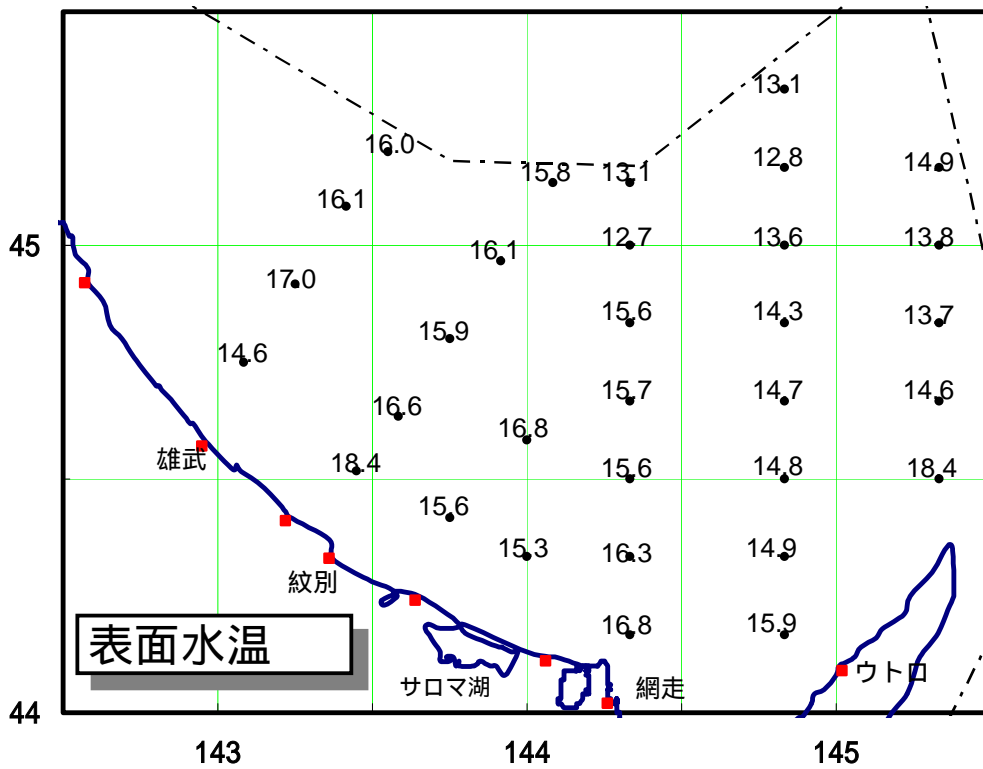


図1 表面水温 2005年9月12日～15日

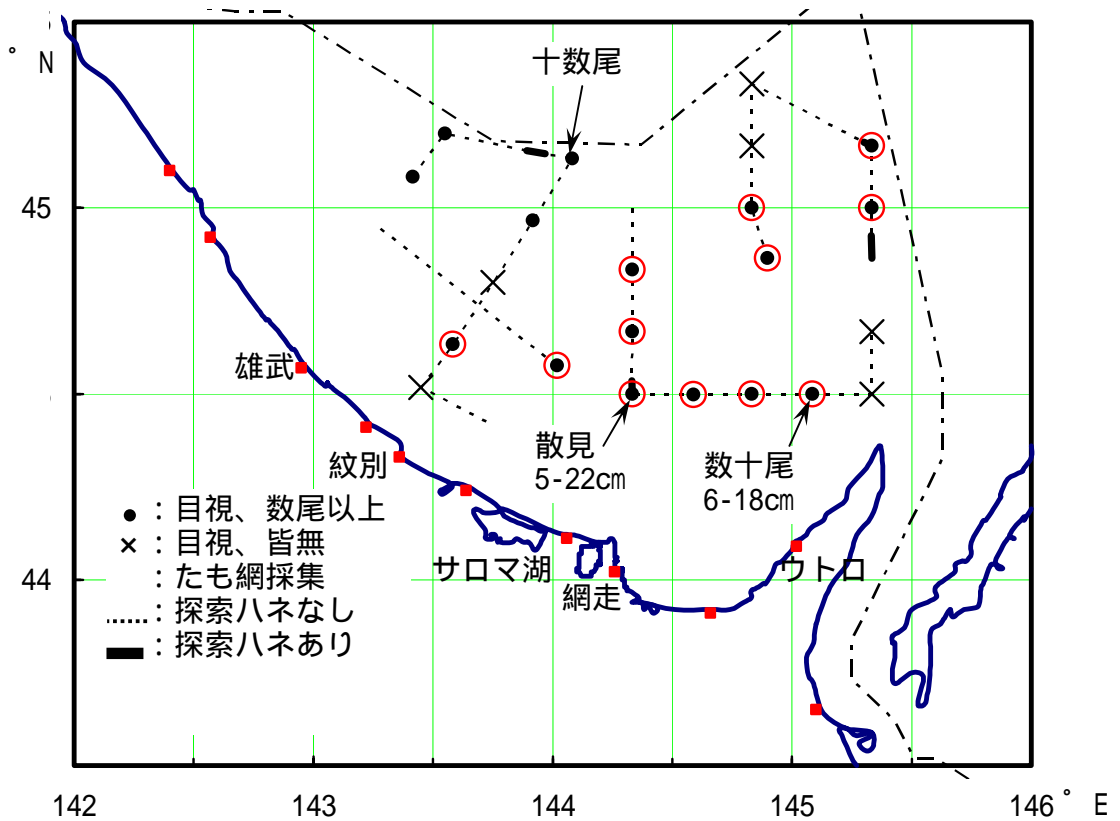


図2 魚群探索・目視・漁獲調査結果
数字は採集されたサンマの体長範囲